

「障害者地域活動支援センター」ふえふき通信

「笛吹市災害時

お手伝いバンダナ」

ができました!!



レポート by 慶

「笛吹市災害時

お手伝いバンダナ」

ってなに??

このバンダナは、「お手伝いバンダナ」のメッセージがあります。災害時や緊急時、地域住民の助け合いを促すために、このバンダナが役立ちます!

「バンダナができるまで」

東日本大震災がきっかけとなり、笛吹市地域自立支援協議会の中で、災害時には「障がいがあってもなくても、自分の身は自分で守る」と「地域の支えあい」が大事であることについて話し合ってきました。そして、「まずは地域の防災訓練に参加しよう」と、聴覚障がいの羽田さんと夫婦が防災訓練に参加するようになった。

平成25年…近隣住民と関わりなかつた羽田さんご夫婦が、防災訓練で自分たちのことを知ってもらうために、お手製でバンダナを作りました。それが第1作目。



バンダナ 1作目

地域の方と顔見知りになることができた!



防災訓練の様子

この防災訓練で地域の方と顔見知りになった羽田さん。翌年の平成26年は、組長となって防災訓練に参加しました。その時につけていた第2作目のバンダナはこちら。



バンダナ 2作目



バンダナ 3作目

笛吹川の青をイメージ

実は、大阪のNPO法人から寄付していただいたのです。

「お手伝いバンダナ」の両面があります!羽田さんは組長として「お手伝いバンダナ」の面を使って防災訓練に参加しました。

そしてその後…知的障がいの方と高齢の母、重度身体障がいの方、難病のある方、車椅子で生活している女の子が地域の防災訓練に参加。住民含め、たくさんの方がバンダナを付けてくれたので、段々とバンダナが広まってきました。

自分たちのバンダナが欲しい…そんな時に声をかけてくれたのが、境川町身体障害者福祉会の橋田会長!



私たちの活動費を寄付するよ。

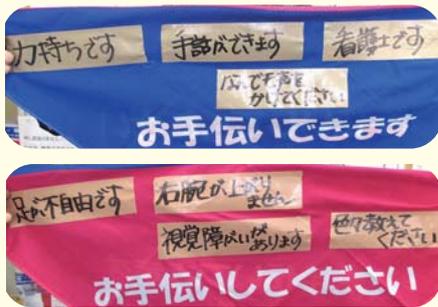
この一言で、笛吹市地域自立支援協議会の皆の想いが詰まった「笛吹市災害時お手伝いバンダナ」が実現しました!!



完成!

桃のピンクをイメージ

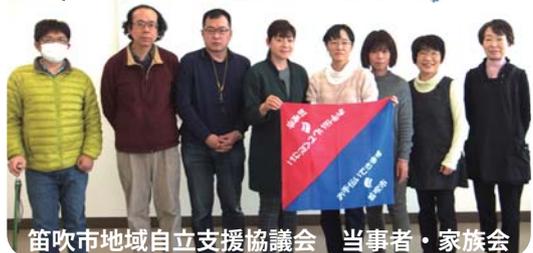
完成したのがこちら!! 三角に半分折り、肩や腕などわかりやすい場所に巻いて使えます。そして、空いている面に自分でカッターなどを使って…こんな風にアレンジすることもできます。



バンダナは障がいがあってもなくても、誰でも「お手伝いバンダナ」が活躍の場です。自分ができることを手伝い、できないことを助けてもらう…住民同士の支え合い活動の中でどんどん使われていきました!

障がいがあることは見た目では判断できないことがあります。みんな地域の中のひとり!バンダナが広がることと一緒に、障がいの理解も広がってほしいなあ。羽田さん

みんなで一生懸命考えて作ったバンダナです!



笛吹市地域自立支援協議会 当事者・家族会



いつもお母さんやお父さんと一緒なわけではないから、何かあった時に使えるように、ほくたちもカバンに入れてバンダナを持ち歩くよ!

バンダナは、これからも増やしていくために、1枚500円で販売します。